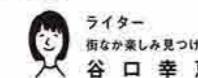


08 「佐賀に来るなら日曜日!」佐賀城本丸歴史館へ

「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」寸劇



「ようこそ! 佐賀へ」

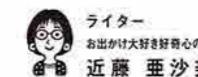
全國魅力度ランキング最下位! と聞いても特に憤ることもない県民性 ?? それは佐賀の魅力は数字には出でないところにあると住民自身が知っているから、かも知れません。今回ご紹介する「幕末・維新 佐賀の八賢人おもてなし隊」は佐賀県庁近くにある佐賀城本丸歴史館にて、毎週日曜日、一日五回、歴史寸劇をもう12年以上、上演しています。

「薩長土肥」という言葉をご存知でしょうか? そう! 今から約160年ほど前、幕末に活躍した薩摩、長州、土佐、肥前の国を表す言葉です。でも、あれ?と思われませんか? 討幕の時に派手に活躍した他の三藩に比べて、肥前の国??? 誰か英雄がいたっけ? と。肥前の国の魅力は今の佐賀県とも少し通じるところがあるのかも知れません。幕末の佐賀には知れば知るほど魅力あるエピソードが満載です。時代の先を読む力のある殿。その殿のためならどのような苦労も厭わない賢人たち。明治維新後にめきめきと力を発揮した偉人のお話を全27話の寸劇にして週替わりでお届けしています。登場賢人は八賢人のうち三人。賢人それぞれにその人柄を表すキャラ設定があり、より身近に感じることができます。

昨年の秋、敬宮愛子さまが単独で初の地方御公務として佐賀にお越しになりました。愛子さまは、八賢人の一人である佐野常民が創立した日本赤十字社にお勤めであることもあり、佐賀城本丸歴史館で寸劇を観劇されました。演者一人一人にお声かけくださり、ユーモアを交えての感

09 レンタル着物で街歩き体験はいかが? 手ぶらでOK

Futaba二葉 与賀町本店



「佐賀で着物体験を楽しんでみませんか?」。佐賀県庁から約5分の場所にある「Futaba二葉 与賀町本店」で、代表の荒川さんに「着物で街歩き」のお話を伺ってきました。

「わあ! 凄い!」。店内に一歩足を踏み入れると、目に入るずらつと並ぶ着物を見て、心が湧き踊るようなワクワク感一杯で、私は目がキラキラしていたと思います。二葉さんでは、約10年前に柳町の「よそいひ処二葉」(現在は与賀町の本店に統合)で「着物体験」のプランを始めたそうです。外国人観光客の利用が多いですが、日本人でも親子やペア、車椅子の方など、利用者は様々。気軽にリーズナブルな価格で、レンタル着物を楽しむことができます。プランは税込4,500円~7,500円。着物と帯のみのプランを基本として、履物やヘアアレンジ、袴といったオプションが用意されています。

受付を済ませると、まずは予算や希望に合わせてプランを選択します。その後約200種類の着物と帯の中から、あなたに似合いそうなものを何点か、気さくな女性店員さんが持って来てくれます。そして、気に入ったコーディネートが決まれば、着付けとヘアアレンジも済ませ、さあ、自由気ままなお出かけの始まりです。車でも歩きでもお好きな所へ。ここを起点に柳町や佐嘉神社や佐賀城本丸歴史館、遠方では武雄の御船山や嬉野に行く人もいるとか。

大切な佐賀観光のワンシーン。素敵な着物を着て、自分好みの場所で思い出の写真をパチリ、撮られてみてはいかがでしょうか。

[INFORMATION]
Futaba二葉 与賀町本店 ☎0952-22-5674 ●佐賀市与賀町3-4 ●着物体験受付時間/10:00~※返却16:30迄。翌日の返却は追加料金あり ●定休日/月曜 ●駐車場/あり

おすすめ No. 1

野菜たっぷり!半熟たまご入り
シシリアンライス 800円

カツカレー 850円

毎月
1日、15日は
おはぎの日

黒米おはぎ
4ヶ入り 500円
(数量限定)

・おまかせランチ 750円
・あい葉ランチ 950円 など

TAKE OUT

・からあげ弁当 550円
・彭り弁当 650円 など

あい葉食堂

佐賀市水ヶ江1丁目2-22 みずがいえ 2F TEL:0952-20-0901

営業時間 11:00~16:00 (イートイン提供 14:00まで) 店休日:日・祝



歴史寸劇の様子。演者との距離が近く、話に引き込まれています

今年のポスター

人とまちをつなぐローカルメディア

TAKE FREE
さが

2025.7.15号
no.74
Machinaka Kawaraban

街なか かわらばん

特集 「佐賀へ来た!」 ~saga city 街なか観光~

街なかのおすすめ空き店舗情報更新中!

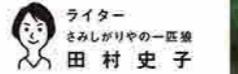
www.kawaraban-web.com



KAWABANBANSAGA

01 佐賀の自然の恵み、ここにあり 米、海苔の農家が営む店

しろいしもり



いろんな地を移り住んできた私が「佐賀っぽい店」としてすぐに思い浮かぶのは、県庁そばにある「しろいしもり」さんです。白石町で海苔漁師と米農家を営む森さんによるおにぎり専門店で、おにぎりの具も森さんが出逢った佐賀県内の生産者による食材を使うというこだわりよう。まさに佐賀のうまいもんが詰まった店なのです。

こちらの店は2年前にも取材させていただきました。再びお話を伺う中で印象的だったのは、「(生産者として店に立つことで)お客様の反応を直接見られて、より一層、おいしいものを届けたいという責任感が強まった」という言葉です。この2年間の、海苔や米の成育環境の厳しさについても、お客様から「状況はどう?」などと心配の声をかけてもらえて、生産者のことを考えてもらえることがありがたく励みになると、森さんは話されました。

メニューは、「御結び」12種(定番10種、月替わり2種)税込180~320円をはじめ、料理研究家によるスープ(2週ごと替わる)や丼物(月替わり)、さらに平日のみランチセット(11:30~13:00、塩かごマヨおにぎり1個+月替わりおにぎり1個+スープ)税込700円もあります。おにぎりの米は、ミネラル豊富な白石町の土壌が育んだ自家栽培米のうち、冷めてもっちりとした食感の「さがびより」と甘みのある「ヒノヒカリ」を独自にブレンド。有明海で育った口どけのよい初摘み海苔が別添えでつくので、パリッとした香ばしい海苔の食感と風味も存分に楽しめます。

おにぎり具材の中でも注目は、新たに加わった「海苔の佃煮」。森家に伝わる家庭の味で、ご近所にも好評を得てきた自慢の品がいよいよメニュー入り! やさしい甘さの佃煮がたっぷり詰まっていて、お米との相性も抜群です。まるでギャラリーのような雰囲気の店内では、佐賀のいいもの、がんばっている生産者などを伝えたいとの思いで企画されるイベントも不定期で開催されます。Instagramを要チェックです。

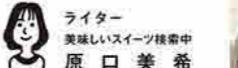


また、店の近くには芝生が広がるARKSや松原川沿いのベンチもあって、緑を眺めながらただくまと一層おいしく感じられます。佐賀の自然の恵みが詰まった店、おすすめです!

[INFORMATION]
しろいしもり ☎090-145-4614 ●佐賀市松原1丁目3-15 徳久ビル1F ●営業時間/11:00~16:00 ●定休日/不定(インスタグラムで確認) ●駐車場/なし ●Instagram @shiroishimori ●HP <https://shiroishimori.com/>

02 立ち呑み屋での一杯から始める佐賀の夜

立ち呑み屋のん



旅や出張、転勤で初めて佐賀に降り立ったとき、その土地ならではの雰囲気や味を感じたい、食したいと思う方は多いと思います。そんな時にぴったりなのが、佐賀駅バスセンター北側にある「立ち呑み屋のん」。オープンして今年で19年目を迎えるこのお店は、佐賀の夜を楽しむ第一歩として、私が心からおすすめしたい一軒です。

大阪出身の女将さんが「佐賀に立ち飲み文化を」という思いで始めたこのお店は、今では常連さんはもちろん、観光客や出張の方々も集う場所になっています。お店のスタイルは佐賀では珍しい「キャッシュオン」。まず、前もってお金を目の前に置かれたマスに入れ、注文の度にそこからお会計されるシステムです。だから初めての方でも安心して立ち寄ることができます。1,000円あれば、佐賀酒とちょっとしたアテで満足できる、そんな嬉しい安心感が「のん」にはあります。また、佐賀の地酒を気軽に楽しめるというのも、おすすめしたい理由の一つ。壁面には「本日のおすすめ」として、その季節ならではの佐賀酒が並びます。種類が多すぎないので初心者には有難く、女将さんに聞けば自分好みの一杯を見つけやすいというのも嬉しいポイントです。佐賀に来たらぜひ味わいたい「佐賀酒」を、まずは一杯。そんなスタートができる場所です。

そして、お酒のアテについては、ちくわとかぼこ、キウリを炒めた人気メニューの「ジャリジャリ」や佐賀名物「魚ロッケ」など、お酒好きのハートをしっかりと感じるメニューを中心に、佐賀らしさを感じるメニューも黒板に並んでいます。また、コの字カウンターの開放感と女将さんのあたたかさもこのお店の魅力。居心地がよいので女性一人でも入りやすく、ゼロ次会や帰り際の一杯、バスや電車を待しながら軽く一杯飲みたいときにぴったりです。また、「次、どこ行こう?」と聞くと、女将さんがその日の気分にぴったりなお店を教えてくれることも推したいポイントの一つ。初めての佐賀でも、ここを起点にすれば安心して佐賀の夜を楽しめます。



[INFORMATION]
立ち呑み屋のん ☎090-5731-7676 ●佐賀市駅前中央1丁目13-8 ●営業時間/月~金曜17:00~23:00、土曜13:00~21:00 ●定休日/日曜、祝日 ●駐車場/なし



03 歴史建築の中で出会う、音楽と美食そして、至高のシシリアンライス

レストラン&カフェ 浪漫座

ライター
イタリアコーディネーター
増本 恵

佐賀市に誇るご当地グルメが、クラシカルに生まれ変わった！レトロ建築「旧古賀銀行本店」の重厚な空間の中でいただける、レストラン&カフェ浪漫座オリジナルのシシリアンライス。「ご当地グルメ」というカジュアルなイメージを抱かれていたが、浪漫座のそれは一味違います。

そもそも「シシリアンライス」とは、ごはんの上にお肉（牛・豚など）、たっぷりの生野菜、そしてマヨネーズ等をかけたワンプレートを一般的スタイルとするご当地グルメです。元々は「まかない」から生まれたとされ、手軽さとボリューム感から地元で長年親しまれてきました。もちろん、浪漫座のそれも地元愛がぎゅっと詰まった一皿。地産地消を主にされ、こちらでは、ワンランク上の「ごちそう」として提供されています。写真からも伝わるその美しさ。ごはんの上には、しっかりとローストビーフやキャシャ野菜、そして色々りのドレッシングが丁寧に重ねられ、目にも美しい「食の舞台」です。3種の特製ドレッシング（イタリアン・バジル・コールスロー）が奏でる味のハーモニーは、まさに音楽を聴くような感覚に陥ってしまうかのようです。

また、浪漫座が店を構える「旧古賀銀行本店」自体の魅力にも注目。明治時代の銀行建築がそのまま生きられており、館内へ一歩足を踏み入れると、吹き抜けの天井に大きなシャンデリア、艶やかな木の床が広がるクラシカルな空間が迎えてくれます。こんな場所で、浪漫座は2005年、オーナーの角田裕裕さんが音楽と文化を発信する拠点としてスタートしました。「佐賀から世界に羽ばたくアーティストを育てたい」という思いを胸に、誰でも音楽を気軽に楽しめる空間を目指されています。バッハがドイツで若手演奏家を支えたツィンマーマン・カフェのように、プロ・アマ問わず音楽家たちが集い、演奏し、聴衆と響き合う場所。それと同じような場所が佐賀では浪漫座なのです。会場は音の響きが良いことからリピートの演奏家が増え、有名アーティストたちからも「ここで演奏したい」と言って頂ける魅力を放っています。



浪漫座風シシリアンライス 税込1,000円

2階では映画「ら・かんばねら」の展示！



04 呼子のイカや有明もの。 佐賀ならではの海鮮ならココ！

産地直送仲買人直営店 蔵 KURA

ライター
かわらん屋 長
庄 野 雄 輔

「せっかく佐賀に来たら、佐賀ならではの海鮮を味わいたい！」

という方におすすめなのが、佐賀市役所より南、愛敬通り沿いにある「蔵 KURA」です。佐賀市でも有明海のすぐそば、東与賀町にある鮮魚店「宮崎鮮魚」さんの直営店ということで、海鮮好きにはぜひおすすめしたいお店です。

自慢はやはり仲買人歴60年以上の目利きと仕入力をいかした、「海鮮」。魚によって異なる鮮度と性質を熟知し、良い魚をより美味しく食べていただきたいという代表の想い。呼子のイカやワラス、ムツゴロウ、くちどこ、エツといった有明ものを初めとして、もちろん、通常の刺し盛りなども鮮度抜群です。佐賀住の方なら「街なかで佐賀っぽい海鮮を楽しむとしたら？」という問い合わせに、真っ先にこのお店を思い浮かべる人は多いのではないかでしょうか。店長・古川さんの話では、県外客や外国人観光客は特に海鮮を楽しみにされるケースが多いとのこと。かくいう私も関東の友人が佐賀に来た際には以前よく利用させていただきました。友人が「ムツゴロウ」の刺身や「わらすぼ」の刺身に興奮し、食べるだけなく、ここぞとばかりにカメラに収めていたのを覚えています。（佐賀市プロモーションムービー「W・R・S・B」も紹介！）

もちろん、海鮮以外にも通常の「居酒屋メニュー」のラインナップも豊富で、中でも焼き鳥各種、ローストビーフや白石レンコンまんまる揚げ、海老パンはさみ揚げといったメニューはよく注文されるそう。コース料理も税込3,500円から、席はカウンターからテーブル席、座敷までいろいろなバリエーションがあります。また、街なかで早い時間帯から飲めるお店は決して多くはない中、蔵は定休日以外は15時から営業しているので、ゼロ次会でもいいかもしれません。

そして、メニューで他に気になったのはスイーツの豊富さ。チーズケーキやショコレートケーキ、シフォンケーキやショートケーキなど、日替わりでいろいろな種類が用意されています。なぜ居酒屋さんでスイーツが豊富なのか？ 店長・古川さんにそれなく聞いてみると、なんと東与賀の



呼子の活いか刺身 ※季節・天候により仕入状況が変わります

「宮崎鮮魚」さんのすぐそばで、代表のご家族が菓子工房を営業されているとのこと。なるほど、納得。お店は「菓子工房リープ」といって、地元農家のフルーツを使った手作りお菓子のお店だそうです。蔵では、ケーキだけ食べに来る人や、食事後にティックアウトしていく人もいるそうです（ご自宅用の土産？）。

「地物をたくさん揃えていますので、ぜひお越しください」と古川さん。ホテルが集中する佐賀駅周辺からは少し離れていますが、街なかで「佐賀っぽさ」を味わうなら外せないお店の一つです。ぜひ、足をお運びください。

[INFORMATION]
産地直送仲買人直営店 蔵 KURA ☎0952-24-3030 ●佐賀市大財1丁目3-19 ●営業時間／月～木曜15:00～24:00(OS 23:00)、金・土曜・祝前日15:00～翌2:00(OS翌1:00) ●定休日／不定 ●駐車場／なし ●HP <https://www.kura-saga.com/>

05 佐賀市には840体以上の恵比須さん。 お参りすると「幸せな気持ちに！」

恵比須さん巡り

ライター
かわらん屋 長
庄 野 雄 輔



恵比須ガイドの様子

八十八ヶ所巡りの通い帳

「佐賀市はなんと恵比須像の数が日本一の街」。ご存知でした？ 840体以上もあるんです。恵比須さんを通じてどういざな佐賀の魅力を街で体感できるのか？ 今はそれをお知らせします。話をしていたいたのは、市民団体「恵比須DE まちづくりネットワーク」代表の大曲さん。この団体では恵比須さんを通じて様々な企画を実施しています。その一つが、「恵比須ガイド」。これは今から約20年前にスタートした街歩きツアーです。独特の黄色い法被を着たガイドさんが、恵比須像を巡るだけでなく、佐賀の歴史やエピソードを随所に織り交ぜながら、1時間半程度で佐賀の街を案内してくれます。コースは佐賀駅へ街の中心部、街なか東部や西部、佐賀市内の西部（嘉瀬方面）や東部（東佐賀、田代あたり）、佐賀城本丸近くなどいろいろ。事前にどんなところを巡りたいか希望を聞き、それを元にルート設定してくれます。一人から参加可能ですが、申込は2週間前くらいにお願いしたいとのこと。参加費は500円／人（10名以上は300円／人）で、60～70代の観光客（東京や大阪からも）が多いそう。

そして、特別篇の企画が組まれることもあります。例えば、「石工さんと街歩き」。実際に恵比須像を作った石工さんと一緒に街歩きしながら、佐賀の石文化の面白さを体感してもらう企画です。他には「夕暮れ恵比須ツアー」。秋の夕暮れに、恵比須巡りをしながら最後は伝説の恵比須ガイドのお店で乾杯するというイベントです。

[INFORMATION]
恵比須DEまちづくりネットワーク ☎0952-40-7137（開運さが恵比須ステーション）●佐賀市呉服元町7-39 ●開館時間／10:00～17:00 ●休館日／月曜、年末年始



06 佐賀のフルーツやハーブをカクテルに！ バーの魅力もぎゅっと搾って発信

Bar Obu

ライター
真まなママチャリライター
高橋 香歩



5月でオープン3周年を迎えた「Bar Obu」は黒壁のビル「アルファ318」の2階にあります。趣のあるドアを開けると曲線を描くカウンターが現れ、テーブルチャージとして最初に出てくるのはブレーン・抹茶味から選べる自家製チーズケーキ。ソフトな甘酸っぱさにフォークが進みます。

お店の名物は、マスターの小脇兼也さんが自ら育てたミントで作る「モヒート」。数種類のミントをたっぷり使って提供します。ラムベースの爽快感あるカクテルが多く、「佐賀で一番モヒートを提供している自信がある」と「モヒート王子」は笑います。また、旬の果物を使ったフルーツカクテルもイチオシ。桃や梨、みかんなど季節ごとにフレッシュな味が楽しめます。佐賀の生産者さんの畑へ直接出向いて収穫するのは、同ビル1F ジガーバーの店長を務めている頃からの決め事。カクテルの味に安定感が生まれるほか、農家さん側にとっても、少々の傷で避けられる果物が取扱いるのは嬉しい取引となっているようです。

「あんばん」をイメージし、佐賀の和菓子店のあんこと麦焼酎を組み合わせてつくるカクテル、スイカバーやバームクーヘンをイメージしたカクテルなど、マスターの感性光る「作品」にも思わずニヤリ。佐賀の材料を仕込んで蒸留した桶乃花蒸留所のクラフトジンも多くのラインナップがあり「佐賀」を感じることができます。さらに、お腹がすいたという方のために、キーマカレーもご用意。元バーテンダーのお父さんに、カレーに含まれる「ウコン」は飲んだ後にもよいと伝授されたとか。

福岡出身で、大学進学以来佐賀に根づいている小脇さん。「バーテンダーはお客様と一緒に仕事を重ねていける仕事」と言います。佐賀の果実のおいしさ、お酒やカクテルの背景にある歴史やストーリー、出会う人々との会話…。足を運んでみると、佐賀で過ごす時の流れもそれぞれ

10月頃まで楽しめるモヒート。季節のフルーツカクテルはSNSで工夫して発信。今年中にInstagramのフォロワー2000人突破を目指しています！

理数系の学生時代からバーの世界へ



佐賀の産地に直接仕入れに行く小脇マスター

10月頃まで楽しめるモヒート。季節のフルーツカクテルはSNSで工夫して発信。今年中にInstagramのフォロワー2000人突破を目指しています！

においしいポイントが見つかるかもしれません。お酒が飲めない人にバーは無難な場所ではなく、新鮮なフルーツカクテルをノンアルコールで味わうことができます。予算感は2杯で3,300円くらい（チャージ・税込）。奥のテーブル席で2次会を楽しむグループも見られます。バーの多彩な魅力を身近に感じてみませんか？

[INFORMATION]
Bar Obu ☎080-2726-7465 ●佐賀市中央本町3-18 アルファ318ビル2F ●営業時間／19:00～翌2:00 ●定休日／不定 ●駐車場／なし ●Instagram @bar_obu_saga

07 佐賀銘菓「まるぼうろ」9種が一つの箱に！

佐賀まるぼうろ食べ比べセット

ライター
カセット・レコード好きライター
田 中 恵 一

エスプラット1階にある、佐賀のコミュニティラジオ局「えびすFM」。2012年5月の開局後に、地域の方々の「いろんなまるぼうろの食べ比べをしたい」という声をきっかけに、佐賀県菓子工業会組合青年部の協力のもと、このえびすFMが企画したのが「佐賀まるぼうろ食べ比べセット」です。2016年に販売がスタートし、2024年にパッケージや金額等がリニューアルしました。

現在のセット内容は、9個（①「まるぼうろ」うさぎや菓子舗、②「ひしほうろ」大串製菓、③「佐賀みかんボーロ」大坪製菓、④「丸芳露」（北島）、⑤「丸房露」（資）鶴屋菓子舗、⑥「まるぼうろ」（坂村岡總本舗）、⑦「まるぼうろ」（坂村岡屋）、⑧「佐賀蓬丸ぼうろ」（本村製菓）、⑨「まるぼうろ」（南八頭司伝吉本舗））です。各社の個性豊かなまるぼうろがセッティングされています。購入した方からは、「これ一つで硬めから柔らかめ、甘さ控えめから甘めなど、幅広く味わうことができる」や「一度に食べ比べをするのに便利」という声もあるよう。以前のパッケージは横長のボックス型でしたが、土産物売り場で平置きで目立つよう、まるぼうろの写真を大きくデザインしたパッケージに変わりました。

「佐賀まるぼうろ食べ比べセット」の販売場所は、コムボックス佐賀駅前内の「SAGA MADO」や佐賀空港のお土産コーナー「sagair（サガエアー）」、そして事前予約をすれば「えびすFM」でも購入可能です。オンラインならば通販サイト「SAGAMAGA」もあります。売場には毎週木曜に新作ということで、木曜の朝早い日のうちに購入された方がいいでしょう。まるぼうろによっては日持ちが短いものもあるので、お早めに！ えびすFM代表の池田さんのお話では、通販サイトでは、北は北海道から南は鹿児島と幅広い地域の方々から注文があるらしく、佐賀県人会や引っ越しした佐賀出身の方が買われていたり、周りに通販サイトを教えていたりされているのがも？と思いました。



佐賀まるぼうろ食べ比べセット（9個入り）税込1,400円

このセットはお土産品として選ぶのもいいですし、時にはご自宅で食べ比べを楽しむために買ってみるのもいいですね。ご家族や友達など身近な方との語らいのお供にもいかがでしょうか。ちなみに、私は北島「丸芳露」のさっくりした食感が好きです。一つ一つの魅力は様々。ぜひこのセットで、あなた好みのまるぼうろを探してみてはいかがでしょうか。

[INFORMATION]
佐賀まるぼうろ食べ比べセット 販売場所①●SAGAMADO（コムボックス佐賀駅前内）②sagair（九州佐賀県空港内）③●通販サイト「SAGAMAGA」<https://sagamaga.thebase.in/> ※詳細はえびすFM（株式会社コミュニティジャーナル）☎0952-97-9699まで



有明海の名物「わらすぼ刺身」※季節・天候により仕入状況が変わります

東与賀「菓子工房リープ」のスイーツ

東与賀「菓子工房リープ」

東与賀「菓子工房リープ」